

『羽咋市ファミリーふれあい短歌』応募用紙〈中高生用〉

◇心に思いつくままの言葉を5・7・5・7・7の31音で一首を詠みましょう。字余りは構いません。



羽咋市ファミリー短歌

〔※家族で、次の①②どちらかの内容で上の句・下の句を詠んでください。〕  
①上の句(子)→下の句(保護者) ②上の句(保護者)→下の句(子)

テーマ

『家族のふれあい』

◇上の句・下の句の作者に○をつけてください。

◇令和7年9月2日(火)までに担任の先生に提出してください。

(※市内在住で市外在校の方は直接生涯学習課に提出してください。)

下の句

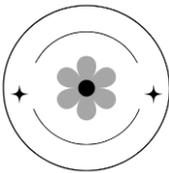
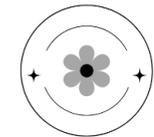
上の句

七 七

七 七

五 七 五

五 七 五



応募者	
高等学校	中学校
年組	
名前	ふりがな
女・男	

作者に○… 子・父・母・祖父・祖母  
その他( )

名前

作者に○… 子・父・母・祖父・祖母  
その他( )

名前

◆市内在住で市外在校の方は下記にご記入ください。

◇応募者の住所、電話番号 ※受賞を通知する際に必要ですので必ずご記入ください。

〒

住所

電話 ( )

# 『羽咋市ファミリーふれあい短歌』 募集要領

羽咋市では、家庭での豊かな会話と子どもの健やかな成長を願い、『羽咋市ファミリーふれあい短歌』と題し家族で作った一つの句(上の句(五七五)・下の句(七七))を一首とする『羽咋市ファミリーふれあい短歌』を募集します。子どもたちを取り巻く全てのことを対象に、日常使っている言葉で素直に表現すること、自分の気持ちを伝え、家族のふれあいを深める目的で実施します。

◆主催 羽咋市教育委員会・羽咋市家庭教育推進協議会

◆対象 ●中学生の部…中学生とその保護者など  
●高校生の部…市内在住・在学の高校生とその保護者など

◆募集内容

- 「伝えたい思い」を短歌で表現します。  
※短歌は、物事を五・七・五・七・七の31音で表現する定型詩。「季語」などの制約はない。また、字余りは構わない。
- 親子・家族間で作った一つの句(上の句(五七五)とそれに合わせた「下の句(七七)」を一首とします。テーマ「家族のふれあい」

◆応募方法

裏面の応募用紙に必要事項を記入し、各学校に提出します。  
※子ども一人につき一作品に限ります。

◆募集期間 令和7年7月19日(土)～8月31日(日)

◆その他

作品の著作権は羽咋市に帰属します。  
入選作品は、文化祭などで掲示すると共に、入選作品を広報はくいに掲載する予定です。

◆お問い合わせ◆

羽咋市教育委員会生涯学習課(羽咋市役所4階)  
羽咋市旭町ア200番地 Tel 22-93331 Fax 22-93332

## ◆作品内容

- ① 「子どもの句(五七五)」↓「大人の句(七七)」  
・日常生活の中での両親や家族、大人社会への思い、感謝、願いなどの「上句(五七五)」に対し、大人はそれに合った「下句(七七)」を詠む。
- ② 「大人の句(五七五)」↓「子どもの句(七七)」※①の逆パターン。  
・大人から子どもへのメッセージの「上句(五七五)」に対し、それに合った子どもの「下句(七七)」。

## 例 句

手伝いで(五)  
楽になれると(七)  
うれしいな(五)  
空いた時間は(七)  
家族団らん(七)  
母  
中学2年男

あなたとの(五)  
目線が合わない(七)  
身長差(五)  
おいしい(飯)で(七)  
のびちやっ(七)  
母  
中学2年女

エアコンが(五)  
急に壊れて(七)  
狭い部屋(五)  
テレビないから(七)  
会話がはずむ(七)  
母  
高校1年女

おはよう(と)(五)  
朝がはじまる(七)  
その声で(五)  
良い1日に(七)  
なる気がするな(七)  
母  
高校1年女

第2回「羽咋市ファミリーふれあい短歌」

入選作品集より